

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択	
	総合的な探究の時間「 <small>みらいずたんきゅう</small> 未来伊豆探究」	2	2	総合学科	必修	
履修条件、選択上の留意事項等						
科目の目標						
伊豆半島ジオパークや伊豆地域の文化・産業に関する学習や探究的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、地域に貢献できる可能性を見だし、自己の生き方や在り方について考えることができるようにする。						
評価の観点とその趣旨						
①	知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識、および情報収集や知識の習得に関わる技能を身に付け、適切にまとめることができる。				
②	思考・判断・表現	実社会と自己との関りから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を整理・分析してまとめ、表現することができる。				
③	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組み、よりよい社会を実現しようとしている。				
評価の方法						
ワークシート、ポスター、レポート等の成果物、授業態度、プレゼンテーション(発表)の内容、グループワーク・調べ学習の取り組み状況 ※数値による評価は行わない						
学習計画						
月	単元(項目)	題材(使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	学習計画と学ぶ意義	1年間の学習計画と学ぶ意義を理解し、よりよい社会作りに主体的に関わろうとする。			○
	ジオパーク学習Ⅰ	伊豆半島ジオパークを知る	身近にあるジオパークの特色とその価値を理解する。	○		
		ジオパークの調べ学習①	ジオパークについて調べ、その特色と課題を明らかにする。	○		
5	地域の産業に触れる	地域の企業を知る	身近な地域の企業とその特色を知り、自己の進路選択にも役立つ。			○
		企業研究	地域の企業の中から自己の興味・関心や進路に関係が深い物を選び、その特色を理解する。	○		
		連携方法模索	選択した企業と湧郷祭(文化祭)で連携する方法を考える。		○	
		湧郷祭での実践	実際に、地域の企業と連携して発表・販売などを行う。		○	
6	ジオパーク学習Ⅱ	ジオパーク調べ学習②	4月に引き続き、伊豆半島ジオパークについて調べ、その特色と課題を明らかにする。	○		
		発表会	ジオパークについて探究した内容を課題とその解決策も含めて考察し、適切に発表する。		○	
7	進路探究学習Ⅰ	科目選択	各教科の説明を聞き、自己の興味・関心と進路に役立つ次年度の科目を適切に選択する。			○
9 10 11	進路探究学習Ⅱ	テーマ設定	1学期の科目選択も踏まえ、自己の進路について探究するテーマを適切に設定する。			○
		調べ学習・フィールドワーク	進路である上級学校・職業についてフィールドワークも含めて調べ、理解を深める。	○		
		スライド作成	探究成果をスライドにまとめ、課題とその解決策も含む適切なプレゼンテーション資料を作成する。		○	
		発表会	探究成果をクラス・学年で発表することを通じ、その評価や反省を自己の進路に生かす。		○	
12 1 2 3	SDGs学習	ガイダンス	SDGsとは何かについて、その基礎知識を理解する。	○		
		テーマ設定	SDGsの中から1つを身近な問題と関連付けて、テーマとして設定する。			○
		調べ学習	設定したテーマについて、具体的な事例や自分の経験・NEWSなどを基に調べ、まとめる。	○		
		スライド作成	探究成果をスライドにまとめ、課題とその解決策も含む適切なプレゼンテーション資料を作成する。		○	
		発表会	クラス・学年での発表に加え、学校全体での学習発表会に向けた適切な準備を行い、また他の学年・類型の発表も聞いてその後の探究活動に役立てる。		○	
3	年間反省	年間の振り返り	年間の探究活動への自分の取り組みについて、良かった点や課題を明らかにし、進路選択に生かす。			○